

日本ローバームート 2024

報告書

NIPPON ROVER MOOT 2024

SCOUT ASSOCIATION OF JAPAN



令和 6 年 9 月 3 日～9 月 8 日

ボーイスカウト広島県連盟

日本ローバームート参加者一同

日本ローバームート概要

日本ローバームート2024は、ローバースカウト年代の野営大会としてRCJ Re: Questからは5年ぶりの開催、日本連盟主催の「ムート」としては実に19年ぶりの開催となる。日本連盟が主催する野営大会にはジャンボリーやアグーナリー、ジャンボレットなど様々なものがあるが、「ムート」はローバースカウトのために実施される特別なプログラムである。地域・社会の一員として自分や社会を見つめ、社会や世界の課題の解決に取り組む、また周囲の人々に奉仕することがローバーリングの一環である。日本ローバームート2024は、野外での共同生活、社会と接点を持ったプログラム、海外スカウトとの交流、未経験の活動、大会運営やcrewでの自治活動を通して、参加者が自己を理解し、自己実現へ向けた道筋を描き、行動に繋げていくことを期待する大会である。

大会テーマは「Momentum」。Momentumには「勢い」「弾み」「推進力」という意味があり、止められない衝動。譲れないこだわり。待ちきれない気持ち。そんな私たちローバースカウトが内に秘めたエネルギーの象徴として、また今回のローバームートが、青年スカウトの出会い、切磋琢磨が起こる場として、各々が目的地へ進む後押しとなることを願い「momentum」が大会のテーマに選定された。

大会の目的は、野外における仲間との生活およびプログラムの実践を通して、参加者の社会に奉仕する精神と体力を養うとともに、今後の自己実現に繋がる機会とすること。

大会の目標：

- 自己への理解を深め、自身の将来について考える機会を提供する。
- 開催地域の文化や歴史への理解を深め、地域と直接的な関わりを持てる場を提供する。
- 参加者や参加者の生きる社会に関し、影響を及ぼす問題に対して意見を交わす機会を提供する。
- 参加者の創意工夫を促し、主体性、リーダーシップスキルを伸ばす機会を提供する。
- 参加者の多様性を尊重し、多様なニーズに配慮する。
- 他国連盟スカウトを招待し、国際交流を促す。
- エンターテインメントとレクリエーションを提供する。

の8つである。

9月3日から8日の間に日本連盟那須野営場で行われた本大会は、国内スカウト約200人、海外スカウト（香港、マレーシア、台湾、韓国）から約30人が参加した。

参加した広島県連盟のスカウト

広島県連盟福山第2団ローバー隊 宮宗昌輝

尾道第1団ローバー隊 細木匠

尾道第1団ローバー隊 實廣芯之助

安芸第4団ローバー隊 守田俊介

全体スケジュール

基本日課

	第1日 9月3日(火)	第2日 9月4日(水)	第3日 9月5日(木)	第4日 9月6日(金)	第5日 9月7日(土)	第6日 9月8日(日)
6:00		起床	起床	起床	起床	起床
7:00		朝食	朝食-朝礼	朝食-朝礼 野宮場清掃	朝食-朝礼	朝食
8:00		プログラム	野宮場清掃		野宮場清掃	昼食
9:30		開会式	場内プログラム	場内プログラム	場内プログラム	
10:00						
11:00						閉会式
12:00	集合-昼付	昼食	昼食	場内プログラム	昼食	昼食
13:00	昼食	場内プログラム	場内プログラム	場内プログラム	場内プログラム	閉会式-野宮場清掃
14:00						昼食
15:00						
16:00						
17:00	夕食	Crew Treat	夕食	夕食	夕食	
18:00						
19:00	ピジン	Welcome Night	Feasibility	大集合 ~(20:00~21:00)~	Feasibility	
20:00		Crew Leader Meeting	Crew Leader Meeting	Crew Leader Meeting	Crew Leader Meeting	
21:00		Crew Treat	Crew Treat	Crew Treat	Crew Treat	
22:00		消灯	消灯	消灯	消灯	
23:00						

参加者からの感想・大会を経ての今後の抱負

福山第2団 ローバー隊 宮宗昌輝

9月3日から8日までローバームートに参加してきました。全国の仲間と出会う喜び、そして一緒に活動できる充実感、共有しあったこれまで、これからのスカウト活動への思いなど那須野営場で育まれた景色、絆が自分をスカウトとして、一人の大人として大きくさせてくれるそんな大会でした。コロナ禍で全国の仲間と出会うことができなかった期間を経て、ともに肩を組んで盛り上がった6日間は、スカウトは友情に熱いと肌で感じる場面でした。大会に参加して、ボーイスカウトを続けてきてよかったと思える瞬間の一つになったと思います。きっとまたその瞬間に出会えるように、またたくさん後輩スカウトに出会ってもらえるように精進してまいります。

2年後の日本ジャンボリーもそんな大会になるように願うとともに尽力して参りたいと思います。

最後に実行委員の皆様、サービスチームの皆様、大会への参加の承認をしてくださった森本コミッショナー、河村地区コミッショナー、高橋隊長、藤間団委員長に感謝申し上げます。ありがとうございました。弥栄

尾道第1団 ローバー隊 實廣芯之助

私は今回のローバームートで、普段の生活では経験できないような貴重な体験をたくさんすることができました。新しい環境での活動や、様々な課題に挑戦する機会を通じて、自分自身の成長を実感しました。特に印象的だったのは、他県や海外からの参加者との交流です。異なる背景を持つ仲間たちと意見を交換し、共に活動することで、視野が大きく広がりました。この経験を通じて、他県や海外の友達がたくさんできました。それぞれの地域や国の文化、考え方の違いを学ぶことができ、とても刺激的でした。新しくできた友達とは、ローバームート後も連絡を取り合い、お互いの活動について情報交換をしています。このような素晴らしい経験を通じて、これからのローバースカウトでの活動がより一層楽しみになりました！新しい友達との再会や、さらなる挑戦的な活動への参加を心待ちにしています。ローバースカウトの活動を通じて、自分自身をさらに成長させ、社会に貢献できる人間になりたいと強く感じています。

尾道第1団 ローバー隊 細木匠

私はこの度9月3日から9月8日まで栃木県的那須野営場で行われたローバームート（この後はムートと省略します）に参加してきました。最初に守田さんからこのお話を聞いたとき行く気はあまりなかったですが、大学に入り大学ローバースとしてヤ下宿先の方でのスカウトと触れあう中で多くの人が行くようだから自分も参加してみようという安易なものでした。しかし、今思うとこの安易な行ってみたいという気持ちを形にすることが大切だと思います。

ムートを通しての感想として挙げられるのは、「楽しかった」の一言に尽きます。やはり、ローバーまでスカウト活動をしているだけあり、みんなフレンドリーなため新しい友達を作るのも一瞬でした。なので、すぐに打ち解けあうことができ1日1日の活動がどれも会話や笑いの絶えないものでした。また、自団のみならず各県やブロックでどのような活動をしているのか、スカウトとして今後どのように活動を広げていくかなどを話し合うことができたので大変有意義でした。

今後の抱負としては、次のNSJに向けて自分もしっかり協力していきたいのと、今所属している、HRC,中四国ブロック,近畿ブロック,KYNなどでの活動に参加をして地検を広めていきたいです。また、それを自団に持ち帰り話すことで少しでもローバーまで続けるキッカケになればよいなと思います。

最後に、ムートの実行委員とサービスチームの皆様、大会参加の許可をくださった森本コミッショナー、河村地区コミッショナー、桑田隊長、半田団委員長に感謝申し上げます。この度は貴重な経験をさせていただきありがとうございました。弥栄

安芸第4団 ローバー隊 守田俊介

私は私用のため、9月6日からの参加となり、2泊3日という短い期間しか参加できませんでしたが、それでも非常に印象深い事業でした。ローバースカウト歴は4年目となりますが、進級前後から新型コロナウイルスの影響により、ローバースカウトのみで行われる全国的な野営行事に対面で参加する機会がありませんでした。以前から対面での全国行事に参加したいとずっと思っていたため、今回その夢がひとつ叶い、大変嬉しく思っています。

特に印象に残っているエピソードとして、私は8月に台湾ムートに参加しており、そこで出会った友人と今回再会できたことを挙げたいと思います。同じ活動を共にできたことが非常に嬉しく、スカウト活動が国境を越えて広がることを改めて実感しました。このことは非常に心に残っています。

最後に、この活動に参加するために支援していただいた県コミッショナー、地区コミッショナー、そして団委員長の皆様に、この場を借りて心より感謝申し上げます。

文責 広島県連盟福山第2団 宮宗昌輝